

津島市立地適正化計画に関するパブリックコメントの結果

1. 概要

- (1) 募集期間 令和3年11月18日(木)から令和3年12月17日(金)まで
- (2) 閲覧者数 111名 (窓口:0名、ホームページ:111名)
- (3) 意見提出者数 1名
- (4) 意見の反映状況 一部修正をいたしました但し計画の内容を大きく修正するご意見はありませんでした。

2. パブリックコメントでの意見内容と市の考え方

番号	章・頁	頂いた意見	市の考え方	結果
1	1 はじめに P4	<p>「学校を核とした適正配置を進める」とあり、「学校施設の統廃合は行わない」とありますが、愛知県が出している「県立高等学校再編将来構想」の資料では津島市の子供の減少率がトップの 54.3%です。愛知県内のすべての市で 25%程度の減少ですが津島市だけ異常に子供の数が減っています。これにより、県立高校を統廃合すると出ています。</p> <p>学校という単位は小学校の単位なのでしょうか？中学校の単位なのでしょうか？分かりにくいです。高校は統廃合されていくことになります。</p> <p>また、この子供の数の激減をどう対処していくかが出ていません。愛知県内で 50%以上も子供が減る市は津島市だけです。そのあたりはどう考えているのでしょうか。</p>	<p>当市では、小中学校の統廃合を含めた今後のあり方については、学校を管理する教育委員会ははじめ、市有財産を総括する財政課が主体となって検討の上、当面は既存の小学校8校と中学校4校の 12校すべてを維持することとなっています。</p> <p>また、学校は地域コミュニティの中心であることから、子供の減少により発生した空き教室等を活用し、地域コミュニティ施設や、子育て支援施設、防災関連施設のほか、他の廃止施設の機能の受け皿として利活用することとしております。</p> <p>子どもの数の激減への対処については、若い世代の流出や出生率の増加には、本計画に基づく人口や都市機能の集約のみならず、教育、福祉、医療など総合的な観点での施策が必要となることから、市の最上位計画である『津島市総合計画』に基づき対処してまいります。</p>	修正なし

番号	章・頁	頂いた意見	市の考え方	結果
2	2 都市構造上の課題分析 (P12)	<p>20歳から35歳までの転出が多く、さらに子供の数が激減しています。にもかかわらず既存市街地の機能更新で終わらせているのはなぜでしょうか。</p> <p>長久手市のように宅地を増やし人口を増やすことはしないのでしょうか。若い世代が入ってくるのを拒んでいるかのように見えます。津島市は田んぼという土地はたくさんあります。若い世代は土地が安くて広いところを探しています。議事録に出ていましたが、田園住居地域を作り若い世代に受け入れる体制は取らないのでしょうか。とても定住者促進をしているようには見えません。</p>	<p>当市では、昭和45年に市街化区域と市街化調整区域の区分を行った後、昭和60年に人口増加を前提に市街地を拡大してきましたが、現在は人口の減少によって、特に既存市街地内での人口密度の低下が進行しています。</p> <p>人口密度の低下は、一定の人口密度により支えられてきた商業や医療、福祉などの衰退や、空き家や空き地が増えるといった、いわゆる都市のスポンジ化を招きます。なお、都市のスポンジ化は、公共サービスの非効率化、市民一人当たりが負担する行政コストの増加などにも影響することから、国では自治体に対し早急な対応を求めています。</p> <p>この度策定する立地適正化計画は、このような背景の下、非効率化、低密度化、分散化される都市機能や人口の集約し、効率のよい付加価値の高いまちづくりを実践することで、転出抑制や市外からの転入を促進し、人口減少を抑制してまいります。</p> <p>ご指摘いただいた「田園住居地域」は、市街化区域内で営農環境を維持したい地域に対して指定するもので、現時点で当市の市街化区域内に指定する予定はありませんが、市域の70%以上が市街化調整区域である当市においても、青塚駅周辺などでは新たな生活拠点の必要性を認識しており、先日公表いたしました都市計画マスタープランにてその方針を打ち出しております。</p>	修正なし

番号	章・頁	頂いた意見	市の考え方	結果
3	2 都市構造上の課題分析 (P14)	<p>市役所に来る市民を見てわかるように津島市は車社会です。にもかかわらずコンパクトシティを目指すのは矛盾しているのではないかと出ている。コンパクトシティはほかの市も同じことを言っている。これではほかの市に流れて行ってしまっただけではないでしょうか。現に子育て世代に逃げられています。長久手市もコンパクト+ネットワークを掲げています。これではみんな長久手市に流れてしまいます。津島市の既存市街地は道が入り組んでいたり空き家があったりと若い世代にはどう考えてもウケが悪いです。津島市の実態に合った計画にするべきだと思います。同じようなことを掲げて長久手市に勝てる要素はどの辺りにあるのでしょうか。</p>	<p>前述のとおり、立地適正化計画は、今後緩やかに都市機能や人口を集約することで都市のスポンジ化に起因する悪影響を抑制しようとするものです。</p> <p>また、都市計画マスタープランにおいては、津島、神守、神島田地域に市街化区域及び青塚駅を中心に人口集約を目指しますが、これら地域間、あるいは、名古屋市や近隣自治体間との移動手段については、電車やバスなどの公共交通機関のほか自家用車での移動も想定しています。</p> <p>なお、これらは令和4年度に予定している居住誘導区域の検討のなかで、地域間ごとの移動として経路選択の自在性がある道路ネットワークや公共交通網の充実を図ることで、自家用車による移動を許容しつつ、公共交通を活用したコンパクト+ネットワークのまちづくりを目指す事としています。</p> <p>「長久手市に勝てる要素はあるか」とのお尋ねに関しましては、当市は愛知県西部地域の県境に近い位置にあり、まちづくり戦略を進めるうえでは、三重県、岐阜県の地方都市からの定住戦略も必要と考えております。地理的影響やターゲットが異なることから、あまり長久手市との競争を意識するものではありませんが、長久手市の施策や他の自治体での施策を調査・研究しながら、当市の独自性のあるまちづくりを進めてまいります。</p>	修正なし

番号	章・頁	頂いた意見	市の考え方	結果
4	8 計画の実現に向けて (P66)	<p>低未利用地を使うとありますが、具体的に何をどうやって人を増やすのでしょうか。見たところ、道が狭く、ごちゃついているので若い世代が喜んで住む場所には見えません。都市型住宅の立地を目指すとありますが、5人家族では都市型住宅は狭く「住み続けたい」とは思えないのではないのでしょうか。また、土地の所有者はどう考えているのでしょうか。売る気がなければ計画も何も無いのではないのでしょうか。</p>	<p>本計画の検討に際して実施した土地利用アンケートでは、空き地や空き家を所有する方の実に約41%の方が「売却を希望」という意向を示されました。</p> <p>なお、「売却を希望」する方の多くは、一方で「不動産の売却方法がわからない」、あるいは「売却時の税金の仕組みが良くわからない」などとも回答されていることから、当市では来年度から、行政と不動産協会などが共同で、土地所有者に対する不動産活用説明会などを開催する予定です。</p> <p>また、国では「小さく散在」する低未利用地の活用事例として、所得税や都市計画税などの税制優遇(インセンティブ)を活用して、土地の交換や区画の分合筆を行うことができる「低未利用土地権利設定等促進制度」を創設しています。</p> <p>本計画では、こうした国の制度のほか、複数の土地を共同・高度利用していく「優良建築物等整備」などを活用し、便利で快適な居住空間を実施していきたいと考えています。</p> <p>ご意見を頂きましたように「都市型住宅」というフレーズでは、こうした市が考える意図が伝わりにくいことから、都市機能誘導の方針では、「便利な駅ちか居住を実現する中・高層住宅」、居住誘導の方針では「津島の地域特性を生かした、手頃でゆとりある住宅地」という表現方法に修正させていただきます。</p>	修正あり
5	8 計画の実現に向けて (P67)	<p>乗車人員の目標で「今後増加することを見込む人口500人の標準的な世帯人員を両親と子供の3人世帯と想定」とありますが、そもそも子育て世代に逃げられて人口が減っているのでは前提がおかしいのではないのでしょうか。また、子供は3人というもおかしいのではないのでしょうか。津島市は子供が50%以上減るので</p>	<p>本計画では、「世帯人員を両親と子供の3人世帯」として表現しています。</p> <p>ご意見を頂きましたよう、表現に誤解が生じることもあるため、わかりやすい表現として「世帯人員を両親(2人)と子供(1人)の一世帯当たり3人」と修正させていただきます。</p> <p>なお、子供一人とは愛知県内の保健所内で示す出生率の平均値ほか、国の示す平均世帯構成員数から引用しています。</p>	修正あり

番号	章・頁	頂いた意見	市の考え方	結果
6	全体	<p>津島市は駅が津島駅と青塚駅しかなく、途中の駅は愛西市です。そもそも駅が分断されているのにコンパクトシティと言われても非現実的だと思います。</p> <p>そして、青塚駅は市街化調整区域です。公共交通機関を推すのであれば青塚駅周辺を市街化区域にすべきではないでしょうか。ちぐはぐに見えます。</p>	<p>本計画(P17～P18)では、市街化区域である津島、神守、神島田地域で、暮らしの質が高まるための各種施策を進め、居住環境の向上と地域生活拠点の充実を図るとともに、その拠点間は気軽に移動できる道路網や公共交通網を充実させていくこととしています。</p> <p>ご意見のとおり、これらの拠点と青塚駅は連続していませんが、青塚駅は多くの方が利用できる公共施設でありながら、その周辺が市街化調整区域で土地利用に制限があり、その効果を活かしきれていません。このことから、多くの方から青塚駅周辺の土地利用の促進を期待されています。</p> <p>よって、先日公表した「津島市都市計画マスタープラン」では、青塚駅周辺を「地域生活拠点」として位置づけ、住宅建築の促進や一定規模の店舗建築等に向け、道路をはじめとする都市基盤を整備し、地域特性に応じたきめ細かい土地利用策を行う方針としました。</p> <p>また、青塚駅周辺は駅周辺であるにも関わらず、農地と住宅が融合した地域となっていることから、津島らしい居住環境を創出することが可能であると考えており、逆に市街化区域にすることで農地が宅地化され、津島らしい田園風景が失いかねません。</p> <p>このことから、青塚駅周辺は頂きました市街化区域に関するご意見よりも、地域特性に応じたまちづくりができる地区計画制度を用いた整備が適していると考えております。</p> <p>今後、青塚駅周辺については、今後地域住民との対話を深めながら、地域に応じたふさわしいまちづくりができるよう取組を進めてまいります。</p>	修正なし

番号	章・頁	頂いた意見	市の考え方	結果
7	全体	<p>都市化を目指しても名古屋市に勝てません。若い世代は都市を選ぶなら名古屋に住みます。都市を選ばない子育て世代ならば広くて安い宅地を探しているはずですが。津島市は田舎で車社会ということを受け入れ、都市型ではなく、田園住居地域など田舎の魅力を活かしたまちづくりをしていく方が津島市の発展につながっていくのではないのでしょうか。</p> <p>私は津島市が大好きです。子供たちも住み続けたいと言っています。だからこそ、実態にあった計画を進めていってほしいと思います。</p>	<p>当市はリニア中央新幹線の開業によりスーパー・メガリージョン化が期待される名古屋駅から程近く、通勤・通学の面では位置的・時間的に利点があります。</p> <p>また、土地の価格が安価で、名古屋東部の同じような位置にある自治体と比較しても、より広い敷地でお好みの間取りを実現でき、田舎の良さと便利さを両立した経済的にも「ちょうど良い！」マイホームを取得できるものと考えています。</p> <p>市の発展に対する、ご意見につきましては、大変重要なことですので、関係部署とも調整し、今後のまちづくりに活かしてまいります。</p>	修正なし
8	その他	<p>パブリックコメントを提出する際に、住所・氏名・電話番号を必須にする必要性はあるのでしょうか？これでは、市民は正直な意見・手厳しい意見を書きたくても躊躇するのではないのでしょうか。結果、津島市のパブリックコメントの少なさに繋がっているのではないのでしょうか。</p> <p>愛知県のパブリックコメントには年齢と職業だけです。ここまでの個人情報を書かないと意見を出せないということはありません。もっと市民が意見を出しやすい開けた市政を希望します。</p>	<p>当市では、パブリックコメントの募集にあたり「津島市パブリックコメント実施要綱」に従い、全庁的に統一した手続となることを目指しております。</p> <p>頂いたご意見にある県の事例につきましては、市の計画を広く周知する有効な手段となりますので、事務改善に向け担当部署と調整してまいります。</p>	修正なし